

第105回宇都宮市都市計画審議会 議事録

1 意見の募集期間

令和7年12月16日（火）から令和8年1月9日（金）まで

※ 書面開催とし、委員からEメール等で御意見をいただきました。

2 結果

異存なし（異存なし15名，異存あり0名）

3 その他の意見等

「異存あり」の意見はなかったものの、委員から以下のとおりその他の意見の提出があったため、栃木県県土整備部都市政策課に提供しています。

委員名	意見の内容
神原 敦子 委員	<p>1を選択しておりますが、先日、県立総合病院をNH Oとの統合前提で進められると報じられ、これは更に県の重要施設が戸祭地区に集約されることになるのか？それによって、宇都宮市が推進する公共交通（L R T）を主軸にしたN C Cの都市計画から乖離していくのでは？と懸念されたため、こちらに意見を述べさせていただきます。（特に病院という交通弱者の利用が圧倒的に多い施設こそ、バリアフリーで高齢者や障がい者にやさしい公共交通を謳っているL R T利用前提の立地が望ましいと思われる。）</p> <p>「スーパースマートシティ」を推進している宇都宮市ですから、もちろんのこと、既にA Iなどデジタル技術を駆使し都市計画を進めていることと推察いたします。市内の各地域に計画される施設（県営や民間問わず）が、このN C Cのまちづくりに適した立地であるかどうかは、当然ながらデータ分析も済んだ上で進められていることでしょうか、今現在進めている都市計画が将来に課題を招く原因とならないデータは出ているかと存じます。一般市民へ向けその分析データの開示をお願いしたいです。生活に困難している市民の理解やL R Tに疑問を抱いている市民の合意も得られることでしょうか。A Iは瞬時にデータ解析しますため、この県の意向を反映させた早急なデータ解析も可能です。県の施設は県の意向</p>

	<p>と言え、それらは宇都宮市内に立地するため、県の意向を受け柔軟に対応し、県との強力な連携の上、都市計画を進めていただきたくお願いいたします。宇都宮市はSDGs未来都市の選定も県より先駆け受けており、市から県へスマートシティの実現のために申立てができるものと信じます。後世に大きな課題を残さず、永く将来を見据えた計画が進められるよう、衷心よりお願い申し上げます。</p>
<p>意見に対する市の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市の都市計画におけるAIなどのデジタル技術の活用につきましては、道路や駅前広場、LRTなどの都市計画の検討において、3D都市モデルやパーソントリップ調査の結果、ビッグデータ等をもとにしたシミュレーションを実施しています。それぞれの検討経過における分析データ等の開示につきましては、適宜、情報公開等に対応してまいります。 ・ AIを活用した都市計画につきましては、AIに正確かつ十分な量のデータを学習させる必要があることなどの課題もあり、国等においても研究段階であることから、今後、国内外の先進事例を調査してまいります。 ・ 県と市の連携につきましては、引き続き、緊密な意見交換を行いながら、県都にふさわしいまちづくりに取り組んでまいります。